

平成28年7月



やまぼうし



社会福祉法人 市島福社会

認定こども園 いちじまこども園

Vol.
27号

〒669-4321

兵庫県丹波市市島町上垣138-1

(☎) 0795-85-2330

(fax) 0795-85-2335

<http://www.ichijima-kodomoen.com>



いきよう
ちからいっぱい
じぶんらしく
まっすぐに

基本的な生活習慣を身につけよう！

基本的な生活習慣とは食事・排泄・睡眠・着脱・清潔の五つです。ナーサリーの0, 1, 2歳児では、担当制を取り入れ、一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、一人で身の回りのことができる子を目指して保育をしています。

きのこ組（0歳児）

睡眠や食事（離乳食）、おむつ交換など、担当の保育者がゆったりと行い、落ち着いて安心して過ごせるようにしています。身振りや声、動きなどから子どもの様子を感じ取り気持ちを受け止め、ふれあいをしっかりとっています。それが自分ですることにつながります。



▲大好きな保育者に「あ〜ん」！

はっぱ組（1歳児）

園では十三時ごろから二時半ごろまで午睡をして体を休めます。パジャマに着替え、布団を敷き始めると自分の物を見つけて寝ころがる子が出てきました。少し部屋を暗くして保育者が側で体を優しくさすること

で、自分で入眠できるようになっていきます。まだ保育者の背中の中にもぐりもりで眠る子もいます。



▲体に触れると安心して眠ります

こえだ組（2歳児）

食事面で、2歳になると指先の機能が発達してくるのでお箸への移行をしていきます。その為指先を使う色々な遊びをしています。楽しく遊びながら指先の力がつき、給食でのスプーンの持ち方にも変化が見られてきます。上握りから、声をかけるとスプーンを下から持てる子が多くなり、一人一人のペースに合わせて下持ち、三点持ち、お箸へとつなげていきたいと思っています。衣服の着脱やトイレでの排泄も、個人差はありますが自分でできるよう

うになってきています。意欲を大切にし、保育者とできた喜びを共感しながら、自立に向けて取り組んでいきます。



▲三点持ちで食べているよ！

▼紙をのりで貼ってあそんだよ！



子どもの優しさ

七夕のおはなしの職員劇中で、織姫が天帝に怒られ泣いてしまいましたが

泣いている織姫のところ駆け寄り、2歳児のKくんM先生をなでなで...



倉橋惣三の言葉

仰ぎ見よ 空を。

驚くことは、我等が空を見ることの

甚だ稀なることである。

さらに驚くことは、

その稀に見る空の世界の高く、

広く、明るいことである。

（解説）

子どもの頃、よく空を見ました。空の大きさや青さ、雲の大きさや形、動きなど、だから大きな夢や空想を描くことができたのでしょう。みなさんは、子どもと共にゆくりと空を見上げる時間があるでしょうか。

倉橋惣三（1882〜1955）

「日本のフレイム」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に連なるもの。誘導保育論が特に有名である。

「幼稚園雑草より」

